

競技注意事項

1. 本選考会は 2021 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本選考会申し合わせ事項により実施する。
2. 相模原ギオンスタジアム使用上の注意
 - 1) 競技場保護のため、舗装材を傷つけるような底が硬い靴での競技エリアへの立ち入りは禁止する。
 - 2) 競技場内におけるテープ等での貼り付けは厳禁とする。
 - 3) 競技場内のすべての電源は、主催者の許可なく使用してはならない。
 - 4) メインスタンドを大学待機場所とする。大学ごとに事前に割り当てられたエリアを利用すること。また、荷物は各大学が責任を持って管理すること。貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者が責任を負うことはない。
 - 5) サイドスタンドを開放する。サイドスタンドには、テントを設営することができるが、感染症対策のため、テントを設置する場合は足のあるテントを使用し、四方の横幕を付けずに設置すること。また、大会中は重りを置くなどして、テントが飛ばないように十分な対策をすること。
 - 6) 競技エリア及び練習場では、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みを厳禁とする。
3. 練習について
練習は、競技場周辺園路及び雨天走路で行うこと。集団走での練習は厳禁とする。なお、14 時 00 分から 16 時 30 分までは、トラック及び雨天走路での練習を許可するが、事故防止のため、逆走は禁止とする。また、安全には十分に注意すること。
4. 競技者の招集について
 - 1) 招集所は D ゲート付近に設置する。
 - 2) 競技者の競技エリアへの入場は競技役員の指示による。
 - 3) 選手が競技中に着用する靴の確認を大学受付にて実施する。選手もしくは代表者が必ず確認を受けることとする。
 - 4) 招集開始・完了時刻は競技日程記載の通りとし、招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受けること。また、代理人による点呼は一切認めない。
 - 5) 特別な理由がない限り、招集所の入口で手指、競技で使用するシューズ裏の消毒を行うこと。
 - 6) 招集の際には、アスリートビブス・商標のチェックをする。その際、腰ナンバー標識(2 枚)を受け取ること。
 - 7) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態(機内モードなど)に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
 - 8) 招集完了時刻に遅れると、欠場したものとして処理する。

9) 各組の招集開始・完了時刻は次の通りとする。

組	招集開始時刻	招集完了時刻	競技開始時刻
第1組	16:30	16:45	17:00
第2組	16:55	17:10	17:25
第3組	17:20	17:35	17:50

5. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは大学受付で1名につき2枚配付する。そのままの大きさを胸と背に確実につけること。
- 2) すべてのアスリートビブスは折り曲げてはならない。
- 3) 招集時に配付する腰ナンバー標識を両腰につけること。周回の確認のため、トランスポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰につけ、通常の腰ナンバー標識は右腰につけること。この腰ナンバー標識はレース終了後に回収する。紛失した場合は弁償となる。

6. 最終エントリーについて

最終エントリーは、大会当日の12時までとする。チームエントリー時に配付する案内に従って、正選手6名を記したリストを電子メールにて提出すること。なお、これ以降の選手の変更は認めないこととする。

7. 棄権について

- 1) 最終エントリー時点で選考レースに出場できる競技者が6名に満たない大学は選考対象外とし、レースへの出場を認めない。
- 2) 選考レース開始後、棄権者または失格者が生じ、6名分の記録がそろわない大学は選考対象外となる。ただし、個人の記録は公認記録として認める。

8. 応援について

- 1) 競技中は必ず競技役員の手配に従い応援を行うこと。競技役員の手配に従わない場合は退場を命じられることもある。
- 2) トラックの9レーンより外側の第2コーナー・第3コーナー・第4コーナー付近をチームスタッフエリアとする。声を出してはいけないが、ボード等を使用し、選手へ指示を出すことができる。また、トラックに入場できるチームスタッフは各大学5名まで、各チームスタッフエリアに2名までとする。なお、競技中にエリアを移動することはできない。
- 3) メガホン・鳴り物等による応援並びに声を出しての応援は禁止する。サイドスタンドおよびバックスタンドでは、のぼり・横断幕の掲出を許可する。なお、のぼり・横断幕の掲出は各校1枚までとし、各大学で責任を持って管理すること。

9. 全日本大学女子駅伝対校選手権大会への出場枠について

本選考会で6名の合計タイムの上位4校を第39回全日本大学女子駅伝対校選手権大会への推薦対象校とする。なお、4校目が同記録の場合は、当該大学代表者の抽選により、推薦対象校を決定する。

10. 競技について

- 1) 計時はすべて電気計時（0.01 秒）を用いて計測する。
- 2) 主催者で水を準備し、給水所はバックストレートに設置する。給水後のペットボトルについてはほかの競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とし、給水所とチームスタッフエリアの間に設置する廃棄場所へ捨てることとする。
- 3) スタートは 2 段階スタートとする。その際、1. 拓殖大学～10. 立教大学が前列、11. 松蔭大学～17. 東海大学が後列となるように並ぶ。なお、大学内の前後は各自で決めること。

11. 抗議について

競技会進行中に起きた競技者あるいはチームの行為、または記録や順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により、結果が正式発表（アナウンス）されてから 30 分以内に、担当総務員（大会本部常駐）を通じて口頭で審判長になされなければならない。なお、この時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なす。

12. 商標等について

競技者が競技エリアに商標のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。基準を超える商標については必ずテープ等を貼って隠すこと。

13. 応急処置・緊急車両の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部の許可なく手配しないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わない。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2021 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。

14. その他

- 1) 競技運営上、多少競技日程を変更する場合がある。
- 2) 相模原ギオンスタジアムの開閉門について
開門時刻 14 時 00 分、閉門時刻 19 時 30 分とする。
- 3) その他不明な点は大会本部まで問い合わせること。

関東学生陸上競技連盟